

みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

チリの文化を伝えたい ～日本に一人だけのチリ人 国際交流員～



カタリーナ・フェルナンダ・
サラビア・シルバさん

チリ共和国サンティアゴ出身 加美町在住
加美町CIR(国際交流員)

——JETプログラム^(*)のCIR(国際交流員)として加美町に赴任されたカタリーナさんは、宮城県だけでなく日本にいる唯一のチリ人のJET参加者とお聞きしました。

はい、JETの参加者は英語圏の方がほとんどだと思います。以前からJETについて知っていましたが、チリでの募集がなく残念に思っていたところ、今年の3月に募集を始めたことを知り「これは私が申し込まないと!」と応募しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックで、加美町がチリのホストタウンになり、チリの参加チームが全力で臨めるよう通訳・翻訳と両国間の調整等が私の主な役割です。

——8月の着任早々、パラリンピック・カヌーチームが事前合宿に来たそうですね。

8月26日から9月8日まで通訳や様々なコーディネートをしました。選手とコーチはとても明るい人たちですぐに仲良くなりました。自分の日本語は通訳として本当に大丈夫なのか、役割を果たせるのかと最初はとても不安でしたが、やってみたら大丈夫でした。そして「私にはできる!」と自信を持つことができました。この2週間の経験で得られたものは大きいと思っています。来年またカヌーチームの3人が戻ってきたら、「おかえり!」と迎えるのが楽しみです。

——カタリーナさんはとても流暢に日本語を話しますが、日本語をどう学んできたか教えてください。

まず、出身のサンティアゴには日系企業も多く、大阪出身の友達がいり、日本を身近に感じていました。サンティアゴ大学の通訳翻訳学部日本語学科へ進み、大学4年生の時に文部科学省の奨学金を得て大阪樟蔭女子大学に1年間留学しました。女子だけの大学はチリにはないので、興味深く感じました。初めてのひとり暮らしで最初は辛かったですが、慣れてきてから変わりました。英会話クラブ、後にはバドミントンクラブに参加し、ドラッグストアでアルバイトも経験しました。そして大学では関西弁について研究しました。関西弁でお気に入りの言葉は「あかん」です。生活面では大阪の電車がにぎやかでおもしろかったです。

——チリの大学と日本の大学ではどんなところが違いますか。

チリの大学では5年間学びます。入学する大学は年に1回だけの全国共通試験を受けて、その試験結果で決まります。試験は難しく、自分の試験結果が希望する大学のレベルに達していない場合は、翌年の試験まで待って再挑戦します。大学生になってから進路を変えたい時には、また共通試験を受け直して大学1年生から始めることもあります。学生の年齢層は広いです。日本では横並びで、ほとんどの人が23歳の頃に就職すると知って驚きました。同時に就職活動があることは良いと思いました。留学



MIYAGI ホストタウンフェスティバル in 利府

中に知ったのですが、日本の大学には就職課があり、そこで就職に関する情報収集、ガイダンスを受けて、就職先を見つけることができます。チリでは、何もかも自分でしないといけないので、「大学は卒業した。さあどうしよう」となり、就職先を見つけられず途方にくれる人も多いです。

——加美町での日々を感じていることはどんなことですか。

町を歩いていると、「チリから来たカタリーナさんですか?」と声をかけられることがあります。最初は遠巻きに見ていた子どもたちも、小学校を訪問してから「カタリーナさん!」と呼んで手を振ってくれるようになり、とても嬉しいです。そしてこの町の人はとても親切です。困っていると必ず声をかけて助けてくれます。それに新しい発見もたくさんありました。「おがつつい(おかしい)」、「とってけさいん(とってください)」などの方言を学びました。他には職場での朝礼が新鮮でした。これまで過ごしてきたサンティアゴや大阪とは違い、静かで自然豊かな環境ですが、ここに来たことで地方の人々や生活を知ることができて本当に良かったと思っています。ひとりの時は色々なことをじっくり考えたり、水彩画を描いたりしています。とはいえ、同世代の友人がもう少し増えたらいいなとも思っています。

——加美町でCIRとして取り組みたいことは何ですか。

ここに赴任するまで、実は宮城県のことをあまり知りませんでした。チリのパラリンピックチームと南三陸町を訪問した際、チリから友好記念で送られたモアイ像や、南三陸町とチリが描かれたカップを見て2国間の繋がりを実感しました。そして改めてチリについてもっと伝えたいくなりました。例えば、チリには鉱山が多く、リチウム電池の原料も日本へたくさん輸出しています。まずは加美町のALTと協力して、小中学生にチリの文化やスペイン語を紹介する予定です。「Ho!a! (こんにちは) カタリーナさん」と声をかけてもらえるようになったら最高です。一方で海外の人たちに加美町について情報を広め、訪問してもらいたいと考えています。加美町には加美富士とも呼ばれる薬葉山があり、おいしい地ビールや温泉、スキー場もあります。ここでのどかな風景を楽しみながらリラックスしてもらえたらと考えています。ただ加美町は交通手段が限られていることが悩みです。外国人観光客を呼び込むには改善が必要かもしれません。私1人でできることは限られていますが、外国人の視点から色々提案していきたいと思っています。

——今後の抱負を教えてください。

これから国際交流に関することに携わっていきたいと考えています。チリについて知ってもらう機会を増やすこと、日本に滞在している外国人のために英語だけでなく、スペイン語を必要とする場面でお役に立ちたいと思っています。

(*) JET プログラムは日本と諸外国の人々の相互理解を深めるため、外国語教育により日本の地域国際化を推進することを目的とした日本政府主催の大規模な国際交流事業です。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2019年12月～2020年1月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2019	S	M	T	W	T	F	S	2020	S	M	T	W	T	F	S
12	1	2	3	4	5	6	7	1				1	2	3	4
	8	9	10	11	12	13	14		5	6	7	8	9	10	11
	15	16	17	18	19	20	21		12	13	14	15	16	17	18
	22	23	24	25	26	27	28		19	20	21	22	23	24	25
	29	30	31						26	27	28	29	30	31	

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

12月 DECEMBER

～12月20日(11月15日から)

写真展「東松島から世界へ! 第2弾
活躍する青年海外協力隊 in グアテマラ」

● JICA東北
● 東松島市図書館
● 東松島市図書館開館時間
● 080-8205-6858
● IWASAKI-Miku@jica.go.jp
● <http://www.lib-city-hm.jp/lib/2011y-library%20top/index.html>

1・8・15・22日

瑞巖寺ボランティアガイド

● 松島善意通訳者の会
● 瑞巖寺
● 10:00～15:00
● 不要(直接現地へ)
● 拝観料700円は自己負担
● <http://www.matsushimagw.club>

1・8・15・22日

円通院ボランティアガイド

● 松島善意通訳者の会
● 円通院
● 10:00～15:00
● 不要(直接現地へ)
● 拝観料300円は自己負担
● <http://www.matsushimagw.club>

8日

JICA東北 開発教育指導者研修2019

● JICA東北
● 仙台第一生命タワービル11階
(仙台市青葉区一番町4-6-1)
● 10:30～15:30
● 必要
● 無料
● 022-223-4772
● FAX 022-227-3090
● thictpp@jica.go.jp
● <https://www.jica.go.jp/tohoku/index.html>

12・13・14日

桜井ひろ子ネパール写真展

● セタ会
● 登米祝祭劇場 地下練習室1
● 期間中9:00～19:00
● 無料
● 0220-22-4283

14日

桜井ひろ子トークと苦米地サトロ コンサート「豊かさで平和」

● セタ会
● 登米祝祭劇場 地下練習室1
● 13:30～15:30
● 無料

☎ 0220-22-4283

14日

ジャンパン・ナイト

● アリアンズ・フランセーズ仙台
● ワインハウスBouchon
● 18:00～
● アリアンズ・フランセーズ仙台
● 6,000円
● 022-225-1475
● FAX 022-225-1407
● contact@afsendai.com
● <http://www.afsendai.com>

15日

ワールドクリスマスパーティ

● 国際サークル友好21
● 石巻中央公民館 2F大ホール
● 9:30～12:30
● 12月9日(当日参加もOK)
● 無料
● 0225-23-2863
● FAX 0225-23-2865

15日

2019 登米市国際まつり

● 登米市国際交流協会
● 登米市迫公民館
● 10:30～14:30
● なし
● なし 但し、ポットラック形式(食べ物一品持ち寄り)
● 0220-52-2144
● FAX 0220-23-9559
● tifa-kokusai@coda.ocn.ne.jp
● <http://www.tome-kokusai.com>

18日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

● 宮城県行政書士会
● 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
● 13:00～16:00
● 電話受付または予約なしでもOK
● 無料
● 022-261-6768
● FAX 022-261-0610

23日

仙台フィンランド協会

「ファミリークリスマスパーティ」
● 仙台フィンランド協会
(事務局:七十七銀行 秘書室内)
● ホテルメトロポリタン仙台
● 18:00～
● FAX
● 大人5,000円/
子ども(小学生以下)3,000円/
留学生 2,000円/幼児無料
● 022-267-1111
● FAX 022-264-2706

1月 JANUARY

15日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

● 宮城県行政書士会
● 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
● 13:00～16:00
● 電話受付または予約なしでもOK
● 無料
● 022-261-6768
● FAX 022-261-0610

16日

アフリカの知恵が世界を救う

● アフリカ・セミナーの会
● 仙台多文化共生センター 研修室
● 10:00～12:00
● 不要
● 1,000円
● FAX 022-362-7907

19日

留学生との新年会

● 地球の子ども通信
● 仙台市桂市民センター
第一会議室(予定)
● 10:00～12:00
● 不要
● 無料
● 022-376-5382
● FAX 022-376-5382
● nra55237@nifty.com
● <http://www.cce-sendai.jp/>

19日

多文化共生シンポジウム in せんだい

● 宮城県・宮城県人権啓発活動ネットワーク協議会
● エル・パーク仙台 ギャラリーホール
● 13:00～16:30
● 要 宮城県国際企画課まで
● 無料
● 022-211-2972
● FAX 022-268-4639
● kokusaik@pref.miyagi.lg.jp



お知らせ

「倶楽部MIA」、「MIA多言語かわら版」(日・英・中・韓・ベトナム・インドネシア・ネパール)の最新号及びバックナンバーは、WEB上でご覧いただくことができます。

倶楽部MIA

検索



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

多言語での相談に応じています～2019年7月から対応言語が増えました!

「みやぎ外国人相談センター」 022-275-9990

MIA内に開設されている「みやぎ外国人相談センター」では、県内に暮らす外国人からのさまざまな相談に多言語で応じています。仙台弁護士会・宮城県行政書士会などの専門機関とも協力しています。何か困ったことがあったら、お気軽にお電話ください。

■対応言語: 中国語・韓国語・英語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語・インドネシア語・ポルトガル語・スペイン語・ロシア語・タイ語・ヒンディー語・日本語 13言語で相談ができます。

■対応日時: 月曜日～金曜日 9:00～17:00

◎日時、言語によっては、三者通話電話を利用しての外部スタッフによる対応になります。

◎各種相談窓口で外国人に対応する際に、三者通話電話を利用して通訳をすることもできます。



MIA日本語サポータービギナー研修会

日本語を学習したい外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア活動について基礎から学ぶ研修会です。日本語サポート活動を初めてみたい方、登録はしてみたけれど実際どうしていいかわからないというビギナーの方々におすすめです。

■日時: 2020年1月29日(水) 13:00～16:00 ■場所: 宮城県国際化協会 交流ラウンジ

■内容: 地域の国際化と日本語ボランティア活動について、外国語としての日本語、日本語学習教材の紹介、やさしい日本語についてなど

■講師: 鈴木英子さん(MIA日本語講座スーパーバイザー)

■定員: 20名(先着順)

■申込: MIAまで電話またはE-mailにて。

※参加はMIA日本語サポーター登録者に限ります。未登録の方は事前にMIA日本語サポーターへの登録をお願いします。



講師の鈴木英子さん

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「介護の日本語」に関する本をそろえました!

介護職の資格取得を目指して学習に励む在住外国人や留学生が増えてきました。MIAのライブラリーには学習者にはもちろん、支援する方々にもお役に立つ書籍を整備しています。今回はそのうちの5冊を紹介しますのでぜひご活用ください。



「はじめて学ぶ介護の日本語 基本の知識」

著者: 三橋麻子・丸山真貴子 発行元: スリーエーネットワーク

「介護のほんご1年生 現場でさいしょに使うことば・表現」

著者: 加藤真実子・奥村恵子・生出亜希 発行元: アスク出版

「外国人介護士のための声かけとコミュニケーションの日本語」

Vol.1 あいさつ 移乗の介助 食事の介助

Vol.2 衣類着脱の介助 身体清潔の介助 排泄の介助

英語・ベトナム語の対訳付き 発行元: 三修社

「外国人介護職への日本語教育法」 著者: 宮崎里司 中野玲子 早川直子 奥村恵子

発行: 日経メディカル開発 発売: 日経BPマーケティング



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階

TEL 022-223-4772 FAX 022-223-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp

JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

JICA東北/二本松・教師海外研修 10名の先生がタンザニアを訪問しました

JICAは、教員の皆様を対象に、開発途上国の置かれている状況や国際協力への理解を深め、教育に役立てていただくことを目的として『教師海外研修』を実施しています。

今年は宮城から3名、東北から総勢10名の先生がタンザニアの青年海外協力隊活動先や現地の学校等を訪問しました。

12月7日(土)11時よりJICA東北で授業実践の報告を行います。見学可能ですので、JICA東北までお気軽にお問い合わせください。

★お問い合わせ/詳細: JICA東北市民参加協力課

022-223-4772 thictpp@jica.go.jp



タンザニアの生徒と話す東北の先生



みやぎのふるさとふれあい事業 ～美里町～

この事業は、県内在住の外国出身者に、地域の伝統行事参加、施設見学やホームステイを通じて、宮城県への理解を深めてもらうことが目的です。今年は3市町で実施されました。そのうち美里町では9月28日～29日に開催され、8か国合わせて10人の外国出身者が参加しました。(株)一蔵の蔵見学、梨収穫体験、山神社参拝、国際交流オータムフェスタへの参加、また町内のお宅にホームステイなど美里町を堪能する体験をし、地域の方々と交流を深めました。参加者は、「普段は学校や職場以外の人と話す機会もありなく、本当の日本の文化や人について知ることができる素晴らしい体験だった。」「梨を取るのは初めてで、ハサミを使うと思っていましたが、手でもぎ取れて楽にとれました。」「できれば、もっと長くホストファミリーと過ごす時間があればよかった。」と満足度が高い感想が寄せられました。みやぎのふるさとふれあい事業は、毎年参加者希望者が多く、とても好評を得ています。今後も多くの市町村で実施され、県民と県内在住外国人の相互理解の機会が増えるよう皆様のご協力をお願い致します。



梨の収穫体験

みやぎの国際活動団体 「国際サークル友好21」

国際サークル友好21は石巻地域の在住外国人を言葉、文化、生活習慣の面において支援することを目的として1999年に設立されました。設立当初、日本語を教えるボランティア5人で始まった日本語教室は、石巻市の協力を得ながら継続され、現在では講師が5倍の25人ほどに増え、2016年からは技能実習生向けに日曜日開講の日本語教室が新たに始まりました。また自立支援の一環として外国籍の住民が社会参画するためのサポートも行っていて、石巻市の外国人相談窓口の相談員や外国人観光ガイドを推薦したり、海外の被災地支援募金活動(2016年フィリピン台風、2017年南米コロンビア大規模土砂災害、2018年インドネシア地震被害等)を共同実施したりしています。今年9月には20周年イベントが開かれ、ベトナム、ミャンマー、インドネシアなどの技能実習生を中心に11ヵ国57人を含め、総勢130人が集まりました。事務局長の清水孝夫さんは、「地道な活動が認められ、最近は多くの市民から理解が得られていると感じています」と話されていました。石巻地域でも外国籍の住民がますます増えていることから、さらなる活躍が期待されます。

〈日本語教室の活動場所/時間〉

楽しい日本語教室：石巻中央公民館/毎週月曜日 10:00～12:00

楽しい日本語教室 みなと荘教室：石巻市総合福祉会館「みなと荘」/毎月第2・第4日曜日10:00～12:00

問合せ先：事務局長 清水孝夫/Tel: 0225-23-2863



創立20周年イベント

サポーターの声 篠沢 健一 さん MIA外国籍の子どもサポーター



篠沢さんと現在サポート中のワセーナ・マハメッド・ボール・ハーン君

子どもたちと接するときには、日本語の支援だけでなく生活が楽しくなるよう寄り添う気持ちで日々のできごとでも聞くことを心がけています。勉強は子どもの理解度にあわせて進めており、低学年の子どもにとって2時間日本語だけだと長いので、ゲームやサポートの小道具を取り入れるなどして楽しく飽きないようにしています。

やりがいを感じるの、子どもの成長を感じた時です。子どもが日本語に興味を持つようになり、質問をしてきたときにはやっていてよかったと思います。「次はいつくるの?」と聞かれると、とてもうれしいです。一方、個人差があるのでどのように教えていったらいいのか見極めが難しいです。他にも宗教・国民性等相違点の対応が難しく思えるときがあります。これまでの活動で、ベトナムの小学3年生女児をサポートした時、日本の生活やベトナムの生活の様子など会話を通して生活習慣の違いを知ることができ国際理解が深まりました。サポート終了時に親子の写真付きで「日本ごをおしえてくれてありがとう。これからがんばります」と書かれた色紙をいただいた時はとてもうれしかったです。これは私の宝物になりました。

MIA外国籍の子どもサポーターとは

日本語教育の基礎を身に付けた人材や母語に精通した人材が県内各地の小中学校など教育の現場にサポーターとして入り、日本語学習支援を必要とする児童や生徒を支援します。日本語のわからない子どもが転入してきたら、どうぞお気軽にMIAへご相談ください。

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。

●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

①協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の
定期送付(年6回)

②当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

③個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
宮交観光サービス(株)

④企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

●入会方法

①本協会あて御連絡ください。
②所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部MIA vol.106

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914

仙台市青葉区堤通南宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C009168

